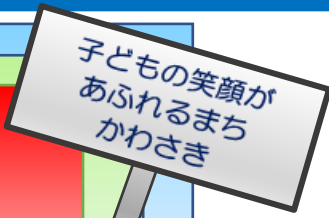


# 令和6年度かわさき教師塾

## ☆『明日の先生日記』☆



Colors, Future!  
いろいろって、未来。

川崎市



### 『明日、子どもたちの笑顔の前に立っている私』をイメージする学び

2月15日(土) 学校安全の意味や具体的な取組、対応理解と児童生徒指導のポイント、プロのアナウンサーによる講演、めざす教師像とそれに向けた取組に関する振り返りが行われました。

#### 令和7年2月15日(土) 日程

- 10:05 危機管理
- 11:05 今、教員に求められること
- 12:00 ~昼食・休憩~
- 13:00 「正しい発声とつたえる力」について
- 14:05 振り返り グループ交流 アンケート
- 14:45 閉講式 事務連絡 15:00 終了



やってみよう！母音ゲーム  
ゲームのルールについて  
①ある言葉を「母音だけ」で発音する → 何かを指す 例：りんご → いんご  
②発音はさ文字以内  
③言葉を学んでいることば  
出なかったら「手を挙げて」「はい」と言う  
母音を発音するようになります！  
盛り上げます！



### 【受講した内容についての感想】



〇子どもを支援したり事故の対応をしたりするときには、自分一人で抱え込まずに、報告・連絡・相談を大切にしながらチームで協力して様々なことに対応したり、支援をしたりしていきたいと思いました。

〇対応を理解するうえで、「子どもを育てる」ではなく「子どもが育つ」という考えを学び、教師像がさらに変わりました。その視点を大切にして、子どもを主語に置いて、寄り添い向き合って支援していきたいと感じました。

〇「教員という仕事は宝探し」という言葉が印象に残りました。課題があることは成長のしるしという意識を持つことで、子どものつまずきや困り事も前向きに捉え、より丁寧に寄り添うことができると考えが変わりました。

〇伝わりやすい発音や発声を意識し、言葉を発するときには場面を想像し、それに合う表現方法を工夫することで、より美しく正しい日本語を届けることができると思った。

〇人前で話すことが苦手でしたが、発声の講義で自分の声が嫌いでも良いんだよと話されたことが心に残っています。子どもたちに発声や表現の楽しさ、大切さを示していきたいです。



### 【1年間の教師塾を振り返って】

◇先生になりたいと漠然と思っていた私でしたが、川崎市の教員として働きたいという気持ちがより具体的、より鮮明になりました。川崎市がどのような人材を求めているのか詳しく理解することができ、教員として働くことをより身近に感じる実り多い時間でした。

◇講義を通して、子どもたちとコミュニケーションを楽しむ中で様々な発見や成長を実感することができる職業であることを学び、教員になりたいという気持ちがより強くなりました。

◇教員の心に余裕がないと、現状を把握できないし、問題が何か分からず、適切な支援を考えていくことができないため、「心に余裕を」を大切にしたい川崎市の教員になれるよう頑張りたいです。

◇同じ道を志す者同士、感化し合って高め合えることができたと感じている。認め合うことが当たり前でできる穏やかな雰囲気だったので居心地が良かった。子どもにも愛情を一杯与えられる教員になりたい。

◇一番印象に残っているのが児童生徒理解です。何をすることも子どもとの信頼関係を築くことが大切だと感じました。教員という仕事は辛いことも大変なこともあると思いますが、教師塾で学んだことを大切にし、子どもを中心に考える初心の気持ちを忘れず、4月から教員生活を楽しくしていきたいです。

◇当初は子ども一人ひとりに寄り添い、それぞれの子どもの良さを伸ばしていく教員であり続けたいと思っていましたが、その子どもの良さをどの方向に伸ばしていくのか、将来の社会参加という目標やねらいを見据え、最適な手立てを打つ必要があることを学びました。



◇困った子ではなく**本人が「困っている」**子という言葉が特に印象に残っています。子どもが困っている時、本質の部分から取り除かないと勝手に考えていましたが、そうではなく、環境や場面の要因が大きく、取り除きやすい部分に目を向けたいと感じました。

◇講義で、1人で抱え込まないで、助け合って仕事をしていくという話を聞き、教員への気持ちが強くなりました。班の方々とも色々な話ができて、同じ目標をもつ**仲間の素晴らしさ**を実感しました。



◇子どもを身体的、精神的に守るために、子どもを平面的ではなく、立体的・多面的に知る必要があるため、保護者との関わりをしっかりと行い、組織として支援していく重要性が理解できました。

◇その子の良さを皆の前で褒め、その都度ちゃんと価値付けることで、その子ども自身も「もっと頑張ろう」と思えることに加え、それを見ている周りの子どもたちの学びにも繋がっていくのではないかと感じました。



◇川崎市が大切にしている「**多様性**」と「**つながり**」のとおり、新しい人たちと出会い、新しい意見を聞き、新しい引き出しが増えました。教師塾でも講師や受講生の皆さんと繋がれたと感じています。

◇通信教育で教員を目指している自分にとって、経験を伴った講師の方から直接指導していただき、質問に答えていただける機会がどれほど重要であるか身をもって知り、得るものがとても多かった。

◇**みんな違うことが当たり前**だと感じるような環境にしていく必要があるという話がとても印象的でした。この言葉を大切に伝えていきたいです。

学んだことを振り返ろう！



教員をめざす多くの様々な仲間との「出会いとつながり」を願う全6日間の教師塾、受講ありがとうございました。昨年の秋、あえてなじみのない場に飛び込んだ皆さん、次第にいつもと違う人や考え方との出会いを喜び、楽しむ自分に気付くことがあったかと思います。これまでの自分の世界にはなかった出会いの分だけ、きっと新しい私にも出会えたはず。『明日、子どもたちの笑顔の前に立っている私』…皆さんと一緒に川崎の子どもたちの成長と笑顔に携われる「明日」を心待ちにしています。